

甲斐市 議会だより



『親子しめ縄作り教室』
平成30年12月15日(敷島公民館)

かほろ



甲斐市マスコットキャラクター



『山梨クィーンビーズ甲斐市ホームタウンゲーム』
平成30年12月9日(敷島体育館)



KAI City

今号の見どころ

第4回定例会	2ページ
公開します議員の賛否	6ページ
市政を問う 代表質問	7ページ
ここが聞きたい 一般質問	8ページ
市民と議会の対話集会を開催します	18ページ
市民参加の議員研修会	19ページ
各種団体との意見交換会	20ページ
平成31年度の当初予算への要望	21ページ
市民の声・議会傍聴記	24ページ

2月7日(木)市民と議会の対話集会を開催します。
「議員定数・議員報酬について」詳細は18ページをご覧ください。



補正
予算

平成30年度 一般会計補正予算（第3号）

地方創生事業などの総額11億2,165万円増額予算

討論の末、可決



山梨県緑化センター跡地

一般会計補正予算（第3号）は、繰越金、国庫支出金、市税などを財源に、基金費、社会福祉費、児童福祉費の増額などの補正予算が提出され、討論の末、採決の結果、起立多数により可決となりました。（議案の審議結果は、P6）

歳入（財源）

項目	金額
繰越金	7億6,559万円
国庫支出金	1億4,730万円
市税	1億円
県支出金	5,921万円
諸収入	2,211万円
繰入金	1,754万円
市債	940万円
寄附金	50万円

歳出（使いみち）※青字と△は減額

項目	おもな事業	金額
諸支出金	財政調整基金積立	6億7,452万円
民生費	自立支援給付事業、広域保育事業、認定こども園等事業、生活保護費	4億2,207万円
教育費	双葉西小学校費（ブロック塀改修工事）、敷島中学校費（維持運営費）	2,242万円
総務費	地方創生事業（事業化支援アドバイザー業務委託費等）、企画管理費（第2次総合計画後期基本計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略策定経費）	1,190万円
農林水産業費	農地集積・集約化対策事業、有害鳥獣捕獲等対策事業（鳥獣防止柵修繕）	634万円
消防費	常備消防負担金、防災無線施設維持管理費（バッテリー交換修繕）	381万円
衛生費	広域事務組合負担金	△174万円
土木費	下水道事業特別会計繰出金	△1,767万円

主な補正予算事業を紹介します

●地方創生事業 [291万円の増額]

山梨県緑化センター跡地活用事業の事業者公募に向けて、募集要項や要求水準書等の公募関係資料および契約書の作成支援などの事業化支援アドバイザー業務委託費などの増額です。

Q 事業化支援アドバイザー業務のスケジュールは。

A 今年度に募集要項、要求水準書の作成準備や民間事業者の意向調査などの支援業務、平成31年度は、事業条件の設定、募集要項・要求水準書の作成、入札業務などの支援業務、平成32年度は契約支援業務の事業執行を予定している。

私は賛成です。

賛成討論
金丸 幸司 議員

補正予算の歳出の主な内容として、社会福祉費や児童福祉費、生活保護費などは市民生活安定のために必要不可欠な事業である。また、山梨県緑化センター跡地活用事業の経費については、本事業を進めるための整備方針等を定める必要不可欠な予算であるとともに、甲斐市の活性化に向け、市、議会、市民と協働で取り組むことにより、地域創生を目指す事業でもあると考える。総じて、「緑と活力あふれる生活快適都市」の実現に向けた予算と判断し、賛成討論とする。

私は反対です。

反対討論
横山 洋介 議員

山梨県緑化センター跡地活用について、住民説明会などで基本コンセプトの「フラワーパーク&ミュージアム」に対して反対意見が多かったにも関わらず、それを無視して事業推進することに反対である。市民がどのように思い、どのようにしていきたいのか。まず、その調査をすることが第一で、その結果を精査し次の段階へ進めていく丁寧さとプロセスがなければ拙速であるとする。もっと市民の声なき声に耳を傾ける努力が必要。



指定管理者制度とは

地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、株式会社をはじめとした営利企業、財団法人、NPO法人などに包括的に代行させることができる制度です。

民間事業者等が有するノウハウを活用することにより、住民サービスの向上を図り、施設の設置の目的を効果的に達成するため、平成15年9月に設けられました。

指定管理施設と指定管理団体

施設名	指定管理者となる団体	期間
神明温泉志麻の湯 百楽泉	山梨交通株式会社	平成31年4月1日から平成34年3月31日（3年間）
釜無川レクリエーションセンター		
志麻の里ことぶきセンター		
甲斐市双葉共同福祉施設	梨北農業協同組合	平成31年4月1日から平成36年3月31日（5年間）
甲斐市コミュニティーホール双葉		
甲斐市双葉農の駅	双葉農の駅企業組合	

●主な質疑

Q 市内の公共温泉施設について、指定管理期間終了後の方針は。

A 3年間の指定管理期間中に方向性を決定する予定である。



双葉農の駅秋の感謝祭の様子

市内の公の施設の指定管理者指定に関する5議案を原案どおり可決しました。平成31年4月1日以降、市内の公共温泉施設などの管理者は、左の表のとおりに決まりました。

公共7施設 指定管理者の指定の件を可決

指定
管理者

活かさせ
民間
活力!

平成30年
第4回定例会

定例会のあらまし

平成30年第4回定例会は、12月10日から12月19日までの10日間の会期で開かれました。今定例会では、市長から条例の改正、補正予算、指定管理者の指定の件などの議案が提出され、審議の結果、全て原案どおり可決されました。また、6会派の代表質問、8人の議員から一般質問が行われました。定例会の様子は、議会ホームページで録画映像を配信していますので、ぜひ、ご視聴ください。

議案を
チェック

条例・補正予算等

委員会レポート

今定例会における各常任委員会での議案審査の質疑を抜粋してお伝えします。
(12月11、12日)

委員会

総務教育常任委員会

条例 甲斐市税条例の一部改正の件

概要： 固定資産税と他税目の徴収における公平性の確保、並びに現在の社会情勢にかんがみ、固定資産税の前納報奨金を廃止するもの。

Q 提案理由の公平性の確保とは。

A 他の税目においては、前納報奨金がないこと、また、固定資産税を納めるにあたって、資力のある方は、前納報奨金で減額されることから、期別で支払う方と公平性が保てないと考えている。

条例 甲斐市印鑑条例の一部改正の件

概要： コンビニエンスストア等における証明書の自動交付サービス(コンビニ交付)の導入により、自動交付機における証明書の自動交付サービスの終了に伴い、所要の改正をするもの。

Q 印鑑登録証明書は、年間どれくらい発行しているのか。

A 印鑑登録証明書は、今年度10月までで、13,938通発行している。このうち自動交付機では、7,360通、コンビニ交付では、372通を発行している。



印鑑登録証チラシ

補正 双葉西小学校費 446万円の増額

概要： 大阪北部地震の災害事故に伴い実施した調査結果により、双葉西小学校の既存ブロック塀を撤去し、フェンスに改修する工事費の増額。

Q いつ施工か。

A 補正予算可決後、入札を行い、年度内での完成を予定している。



双葉西小学校ブロック塀

厚生環境常任委員会

補正 扶助費 7,368万円の増額

概要： 生活保護費(生活扶助費・医療扶助費・介護扶助費)の増額。

Q 医療扶助費の増額理由は。

A 7、8月に高額治療の入院者が多かったことなどによるものである。

補正 敷島保育園費 151万円の増額

概要： 大阪北部地震の災害事故に伴い実施した調査結果により、敷島保育園の職員駐車場のブロック塀の工事費の増額。

Q 具体的にどういう補強をするのか。

A 既存のブロック塀を撤去し、新しくパネル式の塀を設置する。



撤去が予定されているブロック塀

建設経済常任委員会

補正 緑越明許費 公園整備事業 9,680万円の繰越

概要： 赤坂台総合公園園路改修工事において、限られたスペースのため、使用できる機材等が制限されることから、年度内での工事完了が困難となり、工事請負費を翌年度に繰り越すもの。

Q 完成の予定は。

A 2月から工事をおこない、11月の完成を予定している。

Q 公園の使用はどうなるのか。

A 芝生広場や遊具は基本的には開放する。園路部分は、区間を区切りながら工事を行うため、一時的に使えない箇所がある。



園路改修するドラゴンパーク

第4回定例会では、条例の一部改正について審議を行いました。その中で、皆さんの生活に身近なものをピックアップしてお知らせします。



条例 人事 補正予算

甲斐市上水道給水条例の一部改正の件を討論の末、可決 健全経営のため水道料金改定へ

甲斐市水道事業(竜王・双葉地区)において、老朽化した水道施設の更新事業や自然災害等に対応する耐震化事業などを計画的に行うため、また将来に亘り水道事業の安定した健全経営を目指すため、水道料金を改定するものです。討論の末、採決の結果、起立多数により可決となりました。(議案の審議結果は、P6)

●主な質疑

Q 今後の周知方法は。

A 甲斐市水道事業所の広報誌「甲斐のうまい水だより」特別号を2月に発行予定である。また、市ホームページや広報誌、検針票のコメント欄、再度6月に発行予定の「甲斐のうまい水だより」で周知していく。

●主な改正点

現行料金から平均27%引き上げる。
(基本料金30%および超過水量料金を18～30%引き上げる。)

私は賛成です。

賛成討論
齊藤 芳夫議員

水道施設の老朽化対策推進、基幹管路の耐震化を進めることは、安心安全な水の確保に必要不可欠であり、最重要課題の一つとして位置づけ、計画的、かつ迅速に進める必要がある。今後も引き続き水道事業の安定化、健全経営を目指すためには、今回の水道料金の改定はやむを得ない措置であると考え。市当局では、経営の効率化、合理化を図るなど更なる経営努力や消費量拡大等の対策に努力し、今後も市民の安全な生活を守り「安全で安定した水道」を確保していただくことを要望し、賛成討論とする。

私は反対です。

反対討論
谷口 和男 議員

反対理由は、拙速すぎることです。水道事業は、損益勘定留保金・建設改良積立金を取り崩しているとはいえ、1億円の純利益があります。急ぐ必要はありません。老朽水道施設の更新、耐震化工事により経費が増えることは理解できます。しかし、水道設備工事すべてを水道料金収入で賄うには限界が来ています。公共投資も高度経済成長期に作られた施設の維持更新に予算を振り向ける必要があります。値上げだけでは問題は解決しません。以上、甲斐市上水道給水条例の一部改正の件に反対します。

定例会人事

任期満了に伴い、次の案件について、審議しました。

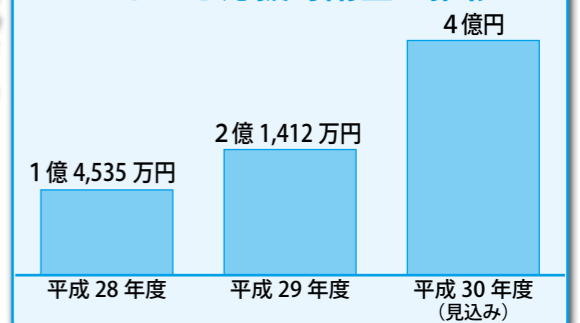
案件	名前(地区)	議決結果
教育委員会委員の任命の件	小林 啓子(篠原)	同意
人権擁護委員候補者の推薦の件	石川 清美(菖蒲澤)	適任

平成30年度一般会計補正予算(第4号)

人事院勧告等に伴う人件費 などの総額8,048万円増額 予算を可決

一般会計補正予算(第4号)は、ふるさと応援寄附金の増額、人事院勧告等に伴う人件費の増額などの追加の補正予算が定例会最終日に提出され、採決の結果、原案どおり可決となりました。(議案の審議結果は、P6)

ふるさと応援寄附金の推移



代表質問



市政を問う

第4回定例会では、各会派から6人の議員が代表質問を行い、2日間にわたり活発な議論を展開しました。
代表質問とは、所属する会派を代表して、執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め又は疑問を質することをいいます。
質問と答弁を要約した内容は、8ページから13ページです。
なお、議会ホームページで、代表質問の録画を配信していますのでご覧ください。

QRコードはこちら→



甲斐市議会 議会中継

検索

- 12月14日(金)**
- 甲斐市民クラブ**
五味 武彦 議員 8ページ
- ① 公共施設等マネジメントについて
 - ② 消費税増税と対応について
 - ③ 改元対応について
 - ④ 小中学校教育について
-
- 創政甲斐クラブ**
山本 英俊 議員 9ページ
- ① 第3次甲斐市定員管理適正化計画の進捗状況について
 - ② 道路・交通環境の整備状況について
 - ③ 地区防災計画の策定・市職員の防災研修について
-
- 新政会**
清水 正二 議員 10ページ
- ① 健全な財政運営について
 - ② 甲斐市全体の基盤整備について
 - ③ 都市機能と防災について
 - ④ 生涯学習と文化活動の推進について
 - ⑤ 学校教育の充実について
 - ⑥ 特色ある地域産業の振興について

- 12月17日(月)**
- 公明党**
保坂 芳子 議員 11ページ
- ① 第2次甲斐市総合計画について
 - ② 防災・減災について
 - ③ 健康寿命と活動寿命の延伸を
-
- 嶺新クラブ**
有泉 庸一郎 議員 12ページ
- ① 第2次甲斐市総合計画について
 - ② 「まちづくりは人づくり 生涯にわたる学びのまち」について
 - ③ 「健やかで心ふれあう安心に暮らせるまち」について
 - ④ 「美しい景観と快適で安全な都市機能を築くまち」について
 - ⑤ 「自然と生活が調和した環境を築くまち」について
 - ⑥ 「交流と協働による未来を拓く活力あふれるまち」について
-
- 日本共産党 甲斐市議団**
松井 豊 議員 13ページ
- ① 市長の政治姿勢と諸問題への対応について

公開します。議員の賛否

平成30年 第4回定例会 議案審議結果

○…賛成 ×…反対

議案番号	議案名	議決 月日	議決 結果	甲斐市民クラブ						創政甲斐クラブ			新政会			公明党		嶺新 クラブ		日本共産 党 甲斐市議 団			
				6	8	9	10	15	21	11	17	18	19	20	1	4	5	14	2	7	22	12	16
承認第4号	専決処分の承認を求める件 〔平成30年度甲斐市一般会計補正予算(専1号)〕	12月10日	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号	甲斐市印鑑条例の一部改正の件	12月14日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	甲斐市税条例の一部改正の件	12月14日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	甲斐市上水道給水条例の一部改正の件	12月14日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号	平成30年度甲斐市一般会計補正予算(第3号)	12月14日	可決	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第66号	平成30年度甲斐市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	12月14日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号	平成30年度甲斐市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	12月14日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号	平成30年度甲斐市介護保険特別会計補正予算(第2号)	12月14日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第69号	平成30年度甲斐市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	12月14日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第70号	指定管理者の指定の件〔神明温泉志麻の湯・百楽泉・金無川レクリエーションセンター〕	12月14日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第71号	指定管理者の指定の件〔志麻の里ことぶきセンター〕	12月14日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第72号	指定管理者の指定の件〔甲斐市双葉共同福祉施設〕	12月14日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第73号	指定管理者の指定の件〔甲斐市コミュニティーホール双葉〕	12月14日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第74号	指定管理者の指定の件〔甲斐市双葉農の駅〕	12月14日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第75号	市道路線認定の件	12月14日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第76号	敷島小学校大規模改修工事(2工区)請負変更契約締結の件	12月14日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第77号	甲斐市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正の件	12月19日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第78号	甲斐市の市長等の給与等に関する条例の一部改正の件	12月19日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第79号	甲斐市職員給与条例の一部改正の件	12月19日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第80号	平成30年度甲斐市一般会計補正予算(第4号)	12月19日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第81号	平成30年度甲斐市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	12月19日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第82号	平成30年度甲斐市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	12月19日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第83号	平成30年度甲斐市介護保険特別会計補正予算(第3号)	12月19日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第84号	平成30年度甲斐市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	12月19日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第85号	平成30年度甲斐市地域し尿処理施設特別会計補正予算(第2号)	12月19日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第86号	平成30年度甲斐市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	12月19日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第87号	平成30年度甲斐市水道事業会計補正予算(第2号)	12月19日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第7号	教育委員会委員の任命の件	12月19日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第6号	人権擁護委員候補者の推薦の件	12月19日	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長(長谷部集)は可否同数以外は採決に加わらない。

表彰の伝達

定例会初日(12月10日)に議員表彰の伝達式を行いました。
山梨県市議会議長会感謝状 小浦 宗光 議員
米山 昇(前) 議員

おめでとうございます





甲斐市公共施設総合管理計画の進捗状況は 市長 ▶ 平成32年度までに策定する[個別施設計画]に基づき検討している

甲斐市民クラブ 五味 武彦 議員

PPP・PFIや指定管理制度の導入予定は

市長 新たに指定管理制度導入を検討している施設はないがPPP/PFIは官民連携の新しい手法であり、住民サービスの向上や経費の削減が図られる場合は検討したい。

五味 計画では利用度が少ない施設や固定化施設を地元へ譲渡や民間へ売却しているが、

市長 公共施設の各所管課での個別施設計画に基づき検討する。



老朽化の旧睦沢小学校校舎
(来年度解体予定)

五味 甲斐市Aが県下一周駅伝で昨年度は優勝、今年度は準優勝であったが敷島総合公園を拡大、改修して正規トラックが実現できないか。

教育部長 面的には可能だが、現在は考えていない。

五味 今後の施設や物件の売却予定は。

総務部長 旧敷島保育園跡地を一般競争入札で、童王東保育園も公売を検討しており、宅地についても中下条地内の3か所を公売の予定をしている。

消費税対応について

五味 地方消費税が来年度増税される。地方消費税交付金の市への交付額と平年度化するの何年度か。

市長 平成33年度からである。平成30年度と比較すると約4億円増となる。

五味 今回の増税で今後の市の年金・医療・介護・少子化対策などの施策にどう反映するか。

市長 教育負担の軽減、子育て支援、介護人材の確保等にも充当するとされており、引き上げの趣旨に基づく施策の経費とする。

五味 プレミアム商品券発行の実施の場合、システムなど早めに対応すべきだが。

市長 今後国から示される詳細により、市商工会等関係機関と協議する。

改元対応について

五味 新天皇ご即位で特別な祝賀行事を考えているか。

市長 現時点では考えていないが近隣自治体の動向を注視し、必要に応じて検討する。

五味 新年号への移行システム改修や10連休の対応は。

市長 システムについては保守業者と打ち合わせを実施中、官公庁は閉庁になるが、市民の混乱を避けるため、事前に周知する。連休中は宿日直者により、火災などの緊急対応を始め、戸籍関係の受け付けや市民からの問い合わせに対応する。

いじめ防止基本計画改定について

五味 従来との相違は。

教育長 組織的な対応の徹底、インターネット上のいじめ対応の充実、重大事態への対応の充実が挙げられる。

五味 第三者委員会設置を急ぐべきだが。

教育長 できるだけ早期に方針を決定したい。

五味 「きづなの日」があるが目的や成果は。

教育部長 教員の多忙化改善の取り組みとして実施している。この日は部活動や会議の実施をやめ、児童生徒と向き合う時間を生みだし、今年度は月2

回設置している。

五味 小学校の外国語教育で教員の研修や学校行事へ影響は。

教育長 県教委や市教委主催の夏季休業の研修や校内研修で指導力の強化の向上を図っている。現在は短時間学習を行うことで、学校行事への影響はない。

五味 入管法改正で今後は外国人入学生徒が増加するが対応は。

教育長 状況に注視し、外国籍が多い他市の現状や課題に対応する。



ATLによる外国語授業(敷島南小学校)

第3次甲斐市定員適正化計画の進捗状況は

市長 ▶ 定年退職ではない普通退職者がいるため、各年度に計画する目標職員数に満たない状況である

創政甲斐クラブ 山本 英俊 議員



山本 職員採用試験の応募要件(住所要件、年齢要件、学歴等)は。

総務部長 保育士以外の職種については、住所要件は設けていない。年齢要件は、一般受験枠は30歳まで、社会人枠は31歳から39歳までとしている。学歴については、特には明記していない。

地区防災計画の策定状況は

市長 地区防災計画は、災害基本法では、各自治会で自主的に策定すべきものとしていることから、市としては、まず、自主防災組織の設立など、その第一歩となる体制づくりを支援することとしている。本市の自治会で自主防災組織の体制づくりができていない自治会は、約3割であるが、地区防災計画の策定まで達している自治会はない。

山本 地区防災計画の策定により、どのような効果が期待できるか。

総務部長 期待される効果は、地区の特性に応じた計画を策定することで、自助、共助の意識が高まり、防災・減災、ひいては、早期復旧・復興に繋が

ることが挙げられている。

市職員の防災研修の取り組みは

市長 毎年、職員防災訓練を実施し、平成27年度には、「滅災への基礎知識」についての講義を、平成28年度は、避難所運営図上訓練、平成29年度は、防災危機管理アドバイザーから被災地の動画や写真を取り入れながら、発災時の職員としての対応について研修した。

今年度は、平成31年1月にさらにステップアップした避難所運営図上訓練の実施を予定している。今後も実態に即した有効かつ有意義な研修などを計画し、実施していきたい。



避難所運営図上訓練

生活関連道路の整備について、自治会から年間どのくらいの要望があり、整備されているのか

市長 今年度は、現在、3地区で95件の要望があり、今年度要望のうち44件および平成29年度以前の要望14件と合わせて合計58件を整備している。

山本 茅ヶ岳東部広域農道の整備状況と今後の見通しは。

市長 茅ヶ岳広域農道の平成29年度までの総延長に対する進捗率は、75・1%、残り2、241mとなっている。

今後は、本年度行う地籍調査事業により、道路用地を確定後、県により個々の交渉を行う予定である。市としても、県に協力し、地権者にご理解いただけるよう丁寧な説明に心がけ、早期の全線開通に向けて鋭意努力していく。

山本 二〇一九年度、清水から甲斐市間が全線開通となる中部自動車横断道はビジネス・観光面で甲斐市、または山梨県内を訪れる利用客の増加が見込まれる。中部自動車横断道は対面通行となっており、安全性に欠け、一つの事故が起きると命に



中部自動車横断道

かわる。利用者の安全の為に「ワイヤーロープ式防護柵」導入にあたり、国土交通省で「高速道路の正面衝突事故防止対策に関する技術検討委員会」が開催され、結果は、死亡事故7件が0件、負傷事故6件が0件と報告され、安全性が確認できた。市町村長・知事・国会議員が一つになり、いち早い「ワイヤーロープ式防護柵」の対策を強く願う。



投資的経費の財源確保は

市長 ▶ 国県支出金の確保やふるさと応援寄附金の増額など積極的な財源確保に努める

新政会 清水 正二 議員

健全な財政運営について

清水 普通交付税の合併算定替えの段階的縮減、一本算定への移行後の投資的経費の財源確保は。

市長 平成27年度から平成31年度の5年間で段階的に縮減となり、平成32年度からは一本算定での交付となることから、減額が見込まれる。市税においても大幅な増額が見込めない中で、投資的経費の財源確保としては、国県支出金（財源の国県からの交付金）の積極的な確保に努めるとともに、年々、増額となっている「ふるさと応援寄附金」の更なる増額に取組むなど、積極的な財源確保に努める。



ふるさと応援寄附金パンフレット

甲斐市全体の基盤整備について

清水 2023年までにどのような道路整備を行うのか問う。

市長 甲斐市道路整備計画に位置付けられている道路については、整備目標時期を「短期」「中期」「長期」の3区分に分類し、現在は、短期整備路線に位置付けている「市道新町本線」の改良工事を実施している。道路整備計画には、42路線が明記されているが、多くの整備が必要になることから短期間での整備は難しく、今後の社会情勢や交通環境の変化を見極め、検討していく。

清水 その他の道路の維持管理の基本的な整備方針を聞く。

市長 基本的には自治会からの修繕要望を精査し、必要に応じて打ち替え等実施、職員の定期的な点検により、計画的に表層の補修、修繕を行う。

清水 水路の改修は計画的に進めていくのか、現状と課題を問う。

市長 現状把握している内水氾濫か所について、今年度敷島地区を調査、結果に基づき、計画的に工事を実施。他の浸水被害地区も対応を検討する。

生涯学習と文化活動の推進について

清水 第2次甲斐市総合計画での生涯学習と文化活動の推進は。

教育長 3つの成果目標の達成に取り組む。竜王中部公園セミナーハウスが新たに生涯学習の拠点となったので、多くの方々に参加していただけるよう取り組む。

清水 県の緑化センター跡地活用の甲斐市総合計画における位置づけは。

市長 整備方針の基本コンセプトを「フラワーパーク&ミュージアム」とし、今後、甲斐市総合計画の後期基本計画の施策に位置付け、併せて次期「甲斐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても反映していく。

都市機能と防災について

清水 避難所マンホールトイレは年次計画で設置されるのか。

市長 これまでに敷島南小に5基、双葉西小に7基、今年度玉幡中に7基のマンホールトイレを設置。今後は作成中の下水



整備が進む新町本線

道総合地震対策計画第2期において、「防災備蓄品等整備計画」に基づき進める。

清水 地域の避難所運営に、災害の避難予想などの情報と指導を要望するが。

市長 地震、洪水、土砂災害ハザードマップを作製しており市民に周知している。市職員や防災危機管理アドバイザーの派遣など、様々な形で地域の要望に応えていく。

第2次甲斐市総合計画でのバイオマスエネルギーの利用は

市長 ▶ 木質バイオマス発電事業と温水供給による熱供給事業を計画している

公明党 保坂 芳子 議員



保坂 温水供給の内容は。

生活環境部長 百楽泉、双葉B&G 海洋センター、双葉学校給食センター、双葉体育館の4施設。農業施設では周辺農地約8haへの温水供給を想定している。

保坂 「水道事業」・「コンパクトシティ」・「スマート自治体」への今後の取り組みは。

市長 水道事業については、水道料金の改定はするが、民営化はない。コンパクトシティは先進事例を参考に検討し、スマート自治体は、具体的な内容を含め研究していく。

保坂 ごみ処理の広域化の予定は。

市長 市町の枠を超え、広域的行政運営をする必要がある。峡北・中巨摩・峡東地域の11市町によるごみ処理施設の1施設化の実現に向け、本格的協議を進めている。

防災のためインフラ整備・空き家対策を

市長 災害防止の観点から自治会の要望で、河川・水路の改修や維持管理の強化を図っている。空き家対策については、「甲斐市空家等対策協議会」を設置している。

健康寿命と活動寿命の延伸を

保坂 「子ども防災手帳」の作製を。教育長 先進地の事例を調査・研究していく。

保坂 市内でモデルになる自主防災組織はどこか。

総務部長 「敷島台自治会」と「双葉西小学校」である。

保坂 子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

市長 住民一人一人、自分の避難行動計画であり「逃げ遅れゼロ」に向けた効果が期待される。今後防災学習会や広報等で自助のひとつとして紹介していく。

保坂 助産師会と災害時の「母子支援協定」の締結を。

子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時の「マイタイムライン」の策定・普及を。

市長 住民一人一人、自分の避難行動計画であり「逃げ遅れゼロ」に向けた効果が期待される。今後防災学習会や広報等で自助のひとつとして紹介していく。

保坂 助産師会と災害時の「母子支援協定」の締結を。

子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 市内でモデルになる自主防災組織はどこか。

総務部長 「敷島台自治会」と「双葉西小学校」である。

保坂 「子ども防災手帳」の作製を。教育長 先進地の事例を調査・研究していく。

保坂 子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との回答であり、本市としては、動向を注視し、対応を検討していく。周知に努めていく。

保坂 災害時に「母子避難所」の設置を。

子育て健康部長 避難所の一部へ設置や市内産科医療機関の協力も含め研究する。

保坂 子育て健康部長 山梨県助産師会では、助産院を活用する中で可能な支援を模索している最中との



第2次甲斐市総合計画について聞く 市長 ▶ 市政推進の取り組みを示した最上位の計画である

有泉 庸一郎 議員

有泉 市長の総合計画に対する今後の施策の方向について聞

市長 5つの基本目標を柱として、平成37年度を目標達成年度とし、「甲斐市まちづくり基本条例」に基づき、交流と協働の推進を計画の軸として、本市の将来像である「緑と活力あふれる生活快適都市」の実現に向けて施策を推進していく。

有泉 事業を推進する場合、市民および議会の意見を十分聞いて、一時立ち止まっても議論していく姿勢が必要ではないか。

企画政策部長 事業の実施にあたっては、市民の行政ニーズや急激に変化を遂げる社会経済情勢等を的確に捉えることが求められることから、市民の皆さんや市議会にお諮りし、ご意見を聞きながら、事業の推進に努めていきたい。

「地域で取り組む教育活動の推進」について聞く

教育長 本市教育委員会で、学校教育の充実を推進していく施策の一つに「地域で取り組む教育活動の推進」があり、学校が地域の協力を得ながら地



双葉西小学校

域全体で学校教育を支援する体制づくりの構築があげられる。地域ボランティアを積極的に活用した学校づくりの推進を図ることが必要と捉えている。

有泉 「学校運営協議会」について聞く。

教育部長 双葉西小学校に設置されている「学校運営協議会」は、本市教育委員会が協議会を設置する学校の指定と委員の任命を行い、保護者および地域住民と学校が密接に連携し、学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組む組織である。

「高齢者保健福祉の推進」について聞く

市長 高齢化の進行は、本市においても本年10月1日現在、24・6％にまで達している。第8次高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画に基づき、誰もが安心して生活を持てるように、安心して日々を過ごせるまことを目指し、生きがいづくりと積極的な社会参加の推進、健康づくりと介護予防の推進に取り組んでいる。

「上水道整備」について聞く

市長 本市では、平成27年度に策定した甲斐市第2次水道ビジョンに基づき、平成28年度に甲斐市水道事業経営戦略およびアセットマネジメント計画を策定し、安全で、安定性の高い水道、持続可能な健全経営を目指し事業を進めている。

有泉 水道料金の値上げについて、市民のみならず丁寧な説明が求められると考えるが考えを聞く。

上下水道部長 水道料金の値上げに関する市民の皆様への説明は「甲斐のうまい水だより」や、



甲斐のうまい水「龍王源水」

市のホームページ・広報等で周知する。また検針時にも周知するとともに、丁寧に説明し、ご理解とご協力をお願いしたいと考えている。

有泉 「安全で安心な水の確保」は、公営で行うよう、強く願う。



消費税10%をやめ、大企業・富裕層に応分の負担を 市長 ▶ 社会保障財源の確保のため広く公平な税制を求める

松井 豊 議員

山県大貳の評価は正しいのか

松井 市長は就任以来、山県大貳の顕彰（ポスター・ブロンズ像・焼酎命名等）に努めてきた。大貳が唱えた勤皇思想が明治維新を創出したという前提に立っている。しかし、近現代史の研究から見ると多くの疑義がある。①内乱を経て政治・軍事の大権を長州が握り、天皇制の強化により軍国日本への道を進んだ。大戦では、2千万人のアジア人民の殺戮と億を超える負傷者、日本も310万人の死者（玉碎・餓死・原爆等含む）を出した。明治は維新と言えるのか。②倒幕の主力となった薩摩・長州等は関が原の負け組であり、幕末期に「勤皇の総本山」と言われた水戸藩は維新の前に崩壊した。③幕府が朝廷との関係を禁じた「武家諸法度」の中で長州は朝廷への献金を認められた（家康黙認）特別な藩であることが吉田松陰の最大のアイデンティティだった。④倒幕の意思と近代文明の吸収が勤皇思想をテコとして「維新」を成し遂げたと推察されるが、市長の考えを聞く。



山県大貳像

市長 山県大貳は学問・教育という観点から地域資源として捉え、ブランドづくりと外部への発信で観光振興に取り組んでいる。歴史的出来事については史実であり、文言だけの表現は難しく、人により様々な思いもあるので、答弁は差し控えた

松井 様々な歴史小説や長州・萩での調査では、大貳の松陰への影響は認められなかった。

広域ごみ処理施設について

松井 峡北・中巨摩・峡南地域（11市町）のごみ処理広域化協議会は、中央市・南アルプス市の3か所に候補地を絞り、地元住民への説明会が進んでいる。甲斐市はアクセス、用地確保等有利な条件を備えていた。ごみ行政は日々進歩しており、地域おこしにもつながっている。甲斐市が選外になった理由と地域は。

市長 本市が提案した場所は選外なので公表は控えさせていただきます。

正規職員の定数増を

松井 住民サービスの根幹となる正規職員の定数460人と人件費は、同規模の南アルプス市、笛吹市、また全国の類似市と比較しても少ない。定数の見直し、とりわけ保育職員の増員の考えはあるか。

市長 第3次甲斐市定員適正化計画に基づき、平成33年4月の目標職員数460人を確保するよう採用を進めている。保育職員数については、園児の定員数を考慮する中で検討していく。

消費税増税は中止を

松井 安倍首相は、平成31年10月に消費税10%への増税を表明した。8%への増税で家計消費は、25万円のマイナスとなる一方で、消費税徴収累計349兆円の内281兆円が大企業減税に消えている。大企業と富裕層に応分の負担を求めるべきでは。

市長 少子高齢化社会の社会保障の財源の確保のため必要であるが、国においては税の三原則「公平・中立・簡素」により広く公平な税制の構築をお願いする。



山梨県緑化センター跡地活用案に反対意見が多数出ており拙速であると考えるが進め方に問題はないのか

市長 ▶ 段階的に説明しており、問題はないものとする

甲斐市民クラブ 横山 洋介 議員



横山 計画案に対する市民の理解度や賛同を得られていないという根拠を示せ。

企画政策部長 住民説明会において賛否両論の意見をいただいたのは内容を理解したからその意見である。また、市民を代表する市議会です事業化に推進するため補正予算の可決をいただいたことなどで、賛同を得ていると判断した。

横山 ドラゴンパークの年間維持費は、約2、600万だが、跡地を公園機能のみとした場合の維持費は。

企画政策部長 公園機能のみの選択肢としては考えていないため、維持費について算出はしていない。

横山 事業費は20年間で最大42億6、800万円、年換算2億1、300万円の計画である。今後も市の歳入（収入）が減り、歳出（支出）が減ることは明白であり、経営計画上の健全経営が維持し続けられるのか。

企画政策部長 自主財源の確保を図るとともに、負担額の軽減に取り組み、財政健全化維持に努める。



横山 波及効果の調査結果の試算は。

企画政策部長 具体的な内容を定めていないので調査はしていない。

横山 市の総合計画の重要施策に位置づける前に総合計画審議会を開催したのか。

企画政策部長 本年度の総合計画審議会は開催していない。

横山 市民の賛否の担保が取れていない、計画案以外の選択肢がない、将来にわたる財政不安、活性化と言いつつ、総合計画審議会を開かず重要施策への位置づけは審議会軽視である。非常に拙速な事業である。次の甲斐市をみんなで見守られるような市政運営に努めていただきたい。

一般質問 ここが聞きたい

第4回定例会では8人の議員が一般質問を行い、2日間にわたり活発な議論を展開しました。質問と答弁を要約した内容は、14ページから18ページです。なお、議会ホームページで、一般質問の録画を配信していますのでご覧ください。



QRコードはこちら→

甲斐市議会 議会中継 検索

12月17日(月)

創政甲斐クラブ 藤原 正夫 議員 14ページ

① 市道開発2号線、道路整備について
② 防災計画、災害対策について

甲斐市民クラブ 横山 洋介 議員 15ページ

① 山梨県緑化センター跡地活用について

一般質問は、行政全般にわたり、議員個人が、執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め又は疑問を質することをいいます。

12月18日(火)

甲斐市民クラブ 滝川 美幸 議員 15ページ

① 災害時の避難所運営及び災害弱者支援について
② 小中学校における児童生徒の生活環境の問題点について

新政会 伊藤 毅 議員 16ページ

① 不妊治療への助成について

公明党 加藤 敬徳 議員 16ページ

① 法定外道路に於ける市の管理責任について
② アナフィラキシー・ショックから子供を守るために

日本共産党 甲斐市議団 谷口 和男 議員 17ページ

① 国保税せめて協会けんぽの水準に向けて
② 県緑化センター跡地活用は市民の意見を尊重して
③ 水道の運営・設備維持は公的責任で

公明党 金丸 幸司 議員 17ページ

① 甲斐市の風疹対策について

甲斐市民クラブ 金丸 寛 議員 18ページ

① 就農希望の若者に対する支援の現状
② 自治会運営に関して市の方針は

避難行動要支援者の具体的な避難行動訓練の計画は

市長 ▶ 支援者の目線に立った実態に即した訓練を計画し実施する

甲斐市民クラブ 滝川 美幸 議員



滝川 自治会において、避難行動要支援者の支援のあり方に温度差を感じる。「避難行動要支援者の避難支援、搬送訓練」を選択訓練ではなく必須訓練としていく必要があると考えるが。

総務部長 支援者名簿対象者や取り扱いの変更に伴い、避難支援関係者である自治会長と民生委員に名簿に記載されている要支援者への防災訓練参加の呼びかけや、避難行動要支援者の避難支援、搬送訓練の実施を併せてお願いしている。

滝川 毎年9月に各自治会単位で実施している防災訓練に具体的な避難所開設訓練を取り入れる考えは。

総務部長 現在のところは総合防災訓練時に、対象自治会の役員の方を中心に基本的な開設、運営を体験していただき、まず自主防災組織の立ち上げを支援していきたいと考えている。



竜王東小学校で行われた総合防災訓練

教育部長 両方の組織はそれぞれの目的等に依り設置している。現在のところ見直しは考えていないが、必要と考えられる場合は調査検討していきたい。

滝川 学校評議員、学校運営協議会など地域の方々の協力が大変重要と考えるが現状の組織の見直しは考えているか。

教育部長 両方の組織はそれぞれの目的等に依り設置している。現在のところ見直しは考えていないが、必要と考えられる場合は調査検討していきたい。

市道開発2号線の迂回路を建設してはどうか

市長 ▶ 甲斐市道路整備計画では、現道の改良を目標としている

創政甲斐クラブ 藤原 正夫 議員



藤原 迂回路を建設することで、甲斐市道2号線の渋滞解消にもつながると考えるが。

市長 現在、迂回路の整備計画はないが、県が行っている「県道甲斐市道線」の完成後には、交通環境の更なる向上が図られ、また、国、県が取り組んでいる「新山梨環状道路北部区間」においては、中心市街地の慢性的な渋滞の解消や通過交通量の分散も期待できる。市としては、引き続き主要な幹線道路の整備促進を強く要望していく。

藤原 開発2号線東側に計画されている道路新設計画の現状は。

市長 「羽黒町島上条線」の一部であるが、都市を取り巻く社会情勢の変化や道路整備等に要する公共投資額も年々減少している状況から、未整備となっている。今後の整備については、甲斐市との関係もあることから、引き続き検討していきたいと考えている。



総合防災訓練の煙体験

市長 自主防災組織の規約や組織の体制づくりが完了している自治会は、平成29年11月の調査では、136自治会のうち、38自治会、その他作成中、検討中が4自治会で、未着手の自治会は、94自治会と把握している。

藤原 災害時の伝達方法は。

市長 浸水害や土砂崩れなどの災害が発生または発生への恐れがある場合は、市は、段階的に「避難準備・高齢者等避難開始」、「避難勧告」、「避難指示」を発信する。防災行政無線や広報車、ウェブサイト、自治会放送等の他に各テレビ局にも情報提供し、周知を徹底している。

高すぎる国保税、協会けんぽの水準に

市長 ▶ 国の責任で財政基盤の強化を求め、賦課についても検討していきたい

日本共産党 甲斐市議団 谷口 和男 議員



谷口 甲斐市で年収400万円4人世帯の保険料は、各々いくらか。

市長 国保税は42万8500円、協会けんぽ保険料は約21万1千円である。

谷口 国保税が倍近く高くなる原因は均等割・平等割である。なぜあるのか。

市民部長 地方税法に基づき国保税を算出している。

谷口 甲斐市の国保会計を見ると、財政調整基金が29年度3・2億円増え、県への納付金も減額、引き下げを。

市長 県標準税額・基金も考慮し、検討していきたい。

谷口 市民説明会では「フラワーパーク&ミュージアム」案に反対意見が多数だった。もっと市民が納得する案にすべきでは。

市長 案については意見募集・地元説明会・市民説明会を重ねてきた。アドバザリー業務で説明会の意見は反映していく。

谷口 視察した「神奈川県立花と緑のふれあいセンター



花と緑のふれあいセンターとバラ

谷口 水道法改正で民営化が可能になったが、安心・低廉な水道継続のため民営化すべきでない。

市長 民営化は考えてない。

谷口 水道法改正で民営化が可能になったが、安心・低廉な水道継続のため民営化すべきでない。

市長 民営化は考えてない。

谷口 通学路になっている接続道路に観光バスを走らすべきでない、美術館の建設に7億円かかり、維持費8900万円も高い、財政負担が大きく、観光客が大幅に増えるとも思えない、見直しを求める。

谷口 水道運営・設備維持は公的責任で

市長 基本コンセプトどおり事業化を進めていくが、これからも市民の声を反映できるように、計画の進捗に合わせてご意見等を聞いていきたい。

谷口 「近代美術館」とも巨額の公費を投入している。計画を吟味し市民の意見を問い直すべきでは。

市長 基本コンセプトどおり事業化を進めていくが、これからも市民の声を反映できるように、計画の進捗に合わせてご意見等を聞いていきたい。

風しん対策はどのようになっているのか

市長 ▶ 風しんの抗体反応検査の情報提供など対策を強化している

公明党 金丸 幸司 議員

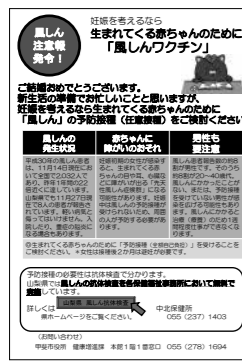


金丸 厚生労働省は感染拡大が続く風しんについて患者の多数を占める30代から50代の男性の抗体検査や予防接種の原則無料化を検討している。関東地方で風しんの届出数が大幅に増加し、山梨県内でも8月に患者が確認されている本市の風しん対策はどのようになっているか。

市長 現在、婚姻届や妊娠届の際に風しん予防のチラシを配布し、健康増進課の相談室や各保健センターにポスターの掲示やウェブサイトに掲載等を通して、幅広く風しんに対する注意喚起を行っている。また、風しんの抗体反応検査については県下すべての保健所において、妊娠を希望する女性など要件にあった対象者に無料で実施していることから情報の提供を行い、風しんに対する対策を強化している。

金丸 県内の風しんの患者数について聞く。

子育て健康部長 全国では昨年の26倍にあたる2,180人発生しており、県内では8人となっている。関東地



婚姻時 風しんチラシ

不妊治療への助成の今後の計画は

市長 ▶ 平成31年度に策定する次期総合戦略においても戦略的な取り組みとして継続していく

新公会 伊藤 毅 議員



伊藤 助成の金額について、岩手県宮古市では、1組の夫婦に対して年度100万円の助成を行っており、安心して治療が受けられることができると聞いているが、本市の助成金額は十分な助成になっていないのか。

子育て健康部長 一般的に1回の特定不妊治療に、平均30万円から50万円の治療費がかかり、県の助成事業を併用すると1回の治療に25万円を上限とする助成を受けることができ、自己負担が1/2程度になる。

伊藤 助成が特定不妊治療に限られているが、一般不妊治療や男性不妊治療まで助成対象の範囲を広げたらどうか。

子育て健康部長 県下の市町村の動向等を注視していきたくと考えている。

伊藤 甲斐市版ネウボラ事業においても、大学等と連携した不妊治療対策を強化する施策はいかがか。

子育て健康部長 不妊治療対策は山梨県においても課題となっており、不妊治療の希望者が早期に治療でき、出



市で誘致したこのはな産婦人科

産に至る治療体制が整備されるよう県に要望を行っていく。併せて、山梨大学とは、本市との包括的連携協定において不妊治療対策の研究を行っていきたく考えている。

伊藤 本当に悩んでいるご夫婦は身近に多数いる。是非甲斐市の未来のため今後もしっかりお願いしたい。

法定外道路における市の管理責任は

市長 ▶ 法的には、市が管理者であり、管理が適切で無かった場合には損害賠償が生ずる可能性がある

公明党 加藤 敬徳 議員



加藤 法定外道路（赤道）において、瑕疵が生ずる場合の、市の管理責任は。また、災害時に事実上避難路として使わなければならないものは、市が整備する必要があるのではないか。

市長 法定外道路とは、国道、県道、市道のような道路法の適用を受ける道路以外の道路であり、地方分権一括法の施行に伴い、従来国有財産であったものが、平成16年度末をもって国より市へ譲渡されたもので、法的には、市が管理者であり、管理が適切で無かった場合には損害賠償が生ずる可能性があると考えられる。また、災害時において避難路として使わなければならないものについては、状況に応じて対応したいと考える。

アナフィラキシー・シヨックから子供を守るために

加藤 本市の小中学校では、アレルギーに対するケアが必要な児童・生徒に対し、どのような対応をとっているか。



法定外道路 (赤道) イメージ

教育長 本市の小中学校では、除去食・代替食の対応は行っていないが、小学校就学前から児童の状況を把握するとともに、生活面・給食面について配慮事項を確認するなど、保護者と学校が連携して対応している。アナフィラキシー・シヨックを起こした時に緊急対応の為に打つ「エビペン」については、児童自身が打てない場合に教職員が対応する為に、毎年、全教職員を対象に研修を実施している。

特別委員会

積極的に調査・研究します

特別委員会レポート

第4回定例会までに開催された各特別委員会の活動（調査）状況をお知らせします

■ バイオマス産業都市構想特別委員会

日付	特別委員会の内容
平成30年11月1日から2日	議員視察研修会（P 22～23に関連記事）
平成30年11月14日	木質バイオマス発電事業における日立造船(株)との協議状況について

■ 山梨県緑化センター跡地活用特別委員会

日付	特別委員会の内容
平成30年11月1日から2日	議員視察研修会（P 22～23に関連記事）
平成30年11月9日	山梨県緑化センター跡地活用に関する住民説明会の結果、今後の事業計画（案）について
平成30年12月10日	議案第65号 平成30年度甲斐市一般会計補正予算（第3号）について

■ 議会改革特別委員会

日付	特別委員会の内容
平成30年10月5日	議員の意見聴取結果について報告、市民参加による議員研修会開催要領の決定
平成30年11月8日	市民参加による議員研修会の最終協議など
平成30年11月16日	市民参加の議員研修会（詳しくは下記参照）
平成30年11月30日	議員研修会、市民アンケートを踏まえた議員の意見聴取について、市民と議会の対話集会についての協議



議会活動に活かせ！

「市民参加の議員研修会」を開催しました。

山梨学院大学大学院研究科長・法学部教授の江藤俊昭氏を招き、「議員定数と議員報酬のあり方について」と題した市民参加の議員研修会を数島総合文化会館の大ホールで平成30年11月16日（金）に開催しました。

当日は、200人近くの参加者があり、講演の後には、熱心な質疑も行われました。講演では、「住民福祉の向上に寄与する議会改革であること。議員定数は、以前は、法律で自治体の人口規模で決まっていたが、撤廃され、自治体が自らの責任で決めることとなった。住民自治の制度運用の中で議論する問題である。議員報酬は、単純に定数を減らしたから、上げるものではなく、別の論理が必要である。議員定数と議員報酬は住民自治の問題であるがゆえに、住民とともに考えなければならない。議会は、住民自治を進める視点で住民ともっと語る必要がある。」などの説明がありました。

今後も、議員定数と議員報酬について、市民とともに考え、調査研究していきます。また、議員定数と議員報酬についての議論を契機とし、議会の役割を再認識するとともに、これまで以上に、市民に開かれた議会を目指したいと思います。



研修会の様子



就農希望の若者に対する支援の現状は

市長 ▶ 普及指導員同席のもと相談を受ける体制でいる

甲斐市民クラブ 金丸 寛 議員



金丸 若者の就農希望への支援策にはどんなものがあるのか。
市長 独立自営就農の希望の場合は、「農業次世代投資資金」の交付により支援している。また、認定された新規就農者に対し、サポート体制として、経営・技術面での助言を行う県の普及指導員、資金面での担当者としてJA、農地の面での助言を行う、農業委員・農地利用最適化推進委員が一貫したサポートを実施する。
金丸 新規就農者が土地を借りるにはどんな方法があるのか。
建設産業部長 農地法上では、借りたり、購入はできないが、農業経営基盤強化促進法に基づき、利用権設定等促進事業では、農地法上の許可手続きは不要となる。本市では、利用権設定等促進事業による土地の貸し借りを紹介し、参入しやすい形でアドバイスを行っている。
金丸 「やほたいも」栽培の土地確保は。
市長 市としては、作付奨励補助金の活用を図り、裁



やほたいもの収穫

培面積の維持・確保に向け農協と連携を図っていく。
金丸 栽培適地を公園等に作る施策は、連作が出来ない作物なので止めてほしい。ブランド化を維持するために耕作面積は確保する必要はある。
自治会運営に関して市として何か指針はあるのか
市長 各自治会において、独自に決めていただくことが重要であり、特に指針はない。
金丸 自治会活動は、地域に欠かせないものなので、市役所退職者の皆様にも是非地域発展のために力を貸していただきたいと思う。

どうする？ 議員定数&報酬

皆様のご意見をお聞かせください

議会では、議員定数と議員報酬のあり方について考える機会として、次により『市民と議会の対話集会』を開催します。ぜひ、お気軽に足をお運びください。

とき	平成31年2月7日（木） 午後7時～午後9時
ところ	竜王北部公民館 4階ホール
対象	市民であればどなたでも参加できます
内容	議員定数・議員報酬について

■問合せ：甲斐市議会事務局 ☎055-278-1673（直通）

市民の声を

厚生環境常任委員会
11月16日開催

市内私立保育園長との意見交換会

日頃、健やかな子どもたちの成長のためにご尽力いただいている市内の私立保育園長と「私立保育園の現状、課題、市への要望」などをテーマに意見交換会を開催しました。

竜王大正園 鈴木園長、光保育園 川口園長、クローバー保育園 小林園長、竜王南あら川保育園 森屋園長が出席してくださいました。

市内の保育園の交流の課題や、公立小学校との連携など約1時間30分にわたり、活発な意見交換会をすることができました。

後日、本委員会で協議し、11月14日、子育て健康部長に次の通りに申し入れを行いました。

1 園長会や保育士会といった市内保育園が交流できる機会を増やしていけるよう検討

2 市内保育園と公立小学校とが連携する事業を実施する場合は、全ての保育園を対象に実施できるよう検討

3 幼児期の子育て施策をさらに充実する場合は、公立保育園、私立保育園や私立幼稚園といった枠組みにとらわれず、全ての子どもたちを対象に施策を実施するよう検討

【委員長 山本英俊 記】



意見交換会の様子



子育て健康部長への申し入れ

平成31年度当初予算への要望書を市長に提出

決算審査特別委員会では、昨年度に引き続き、議会改革の取り組みとして、決算審査特別委員会等で出された意見を踏まえ、次の事業について新年度当初予算に反映されるよう11月8日に市長へ要望しました。

1 甲斐市魅力情報発信事業について

本市の施策や観光などの魅力をさらにPRするための広報事業などの予算の増額を強く要望する。

2 高齢者社会活動推進事業の推進について

(1) 高齢者と子どもの帰り道ふれあい事業の推進

活動資金の新規支給、市内温泉券配布、市内ふれあい事業参加者への指導や組織づくりなど支援策を要望する。

(2) 老人クラブ活動補助金などの増額

新規事業のための補助金の増額、会員特典として市内公共温泉や市民バスの利用割引券の配布などを検討することを要望する。



内藤副市長

保坂市長

五味決算審査特別委員長

松井決算審査特別委員長

長谷部議長

3 マンホールトイレの計画的整備について

下水道管渠の耐震化及びマンホールトイレの整備について、計画的に実施するよう予算措置を要望する。



申し入れの様子

市政に反映

総務教育常任委員会
10月18日開催

学校評議員との意見交換会

総務教育常任委員会では、昨年10月18日に、小中学校評議員と意見交換会を実施しました。当日は、15名の評議員の方に出席いただき、全員の方から多くの意見をいただきました。

今回の意見交換会において、学校評議員の役割や活動状況を把握すると同時に、諸課題についても情報を共有することができました。

また、意見交換会終了後、学校評議員制度および学校運営協議会制度について、担当課より説明を受け、双方の制度の目的や課題なども理解しました。

これらのことから、総務教育常任委員会では、今後の学校運営のあり方について協議した結果、次の事項について、1月10日に教育部に申し入れを行いました。

学校評議員制度の更なる活用等について

学校、家庭、地域が連携した学校運営や開かれた学校づくりの推進のため、学校評議員制度の更なる活用を図ること。

また、将来的には、更なる地域参画型の学校運営を推進するため、既に展開している双葉西小学校のコミュニティ・スクールの検証を行い、市内全小中学校への学校運営協議会制度の導入について調査検討することを要望する。

【委員長 滝川 美幸 記】



意見交換会の様子



教育部長への申し入れ

建設経済常任委員会
10月25日開催

竜王駅魅力発信協議会との意見交換会

建設経済常任委員会では、「竜王駅魅力発信協議会の現状と今後の取り組み等について」をテーマに意見交換会を行いました。

竜王駅魅力発信協議会は、市商工会、駅周辺自治会、JR、市内事業所、市建設安全協議会、JA中巨摩東部、NPO法人及びアドバイザーなどにより構成されており、竜王駅および南北駅前広場を拠点に、イルミネーションや朝市など、年間を通じて魅力あふれる活動を行っています。

今回の意見交換会において、事業を行う上での課題や、今後の竜王駅活用等についてご意見をいただく中で、竜王駅魅力発信協議会が、本市の観光振興など、地域活性化の向上を図る活動をしていることを再認識すると同時に、諸課題についても情報を共有することができました。

その中で出された意見等を本常任委員会において協議した結果、12月11日に、次の事項に

ついて、建設産業部に申し入れを行いました。

1 イルミネーション事業継続のための財源確保等について

2 竜王駅の意匠に関する制約等の本常任委員会への報告について

【委員長 金丸 寛 記】



意見交換会の様子



建設産業部長への申し入れ

各種団体との意見交換会を行いました

バイオマス産業都市構想特別委員会

木質バイオマスエネルギーを活用したモデル地域づくり推進事業

11月2日 (株)那珂川バイオマス

副委員長 保坂 芳子

「(株) 那珂川バイオマス」では、バイオマスを活用した熱利用状況について研修しました。この事業は、環境省及び林野庁の委託事業として、平成25年度から3年間の「木質バイオマスエネルギーを活用したモデル地域づくり推進事業」を経て継続されているものです。一次産業である林業からの木質バイオマス資源を二次産業の建設資材等製造業で用いる高温蒸気の熱源として活用し、建設資材等製造業で利用したエネルギーの余熱を一次産業である農業で利用しています。また、排熱利用による燃料費削減で、付加価値の高い農産物等を製造・販売し、地域での新たな産業・雇用を創出しています。今回は特に「うなぎの養殖」等研修しました。

今後の課題は、温水の通年利用のための熱交換器やハウス新設費用、周辺の土地整備への負担が多いことです。

研修を終えて

本市のバイオマス産業都市構想の実現に向けては、日立造船(株)との基本合意書を締結するなど、順調に推進していますが、今後は、さらに議会での政策提言が必要となります。今回の研修で学んだことを活かしていきたいと思えます。



廃校を利用した那珂川バイオマスを学ぶ

議会を傍聴してみませんか!

手続きは簡単です。本会議の当日、傍聴人名簿に氏名・住所・年齢を記入していただくだけです。議会を傍聴することは市政を知る良い機会ですので、ぜひお越しください。

※12月の定例会においては、敷島地区の老人クラブの方々が大勢傍聴して下さり、ありがとうございました。



平成31年 第1回定例会の日程(予定)

※日程等に変更がある場合もあります

※傍聴に際し、手話通訳が必要な方は、福祉課へお申込みください。

TEL 055-278-1691 FAX 055-276-2113

日	月	火	水	木	金	土
2月24日	25	26	27 午前10時～ 本会議(一般質問)	28 午前10時～ 本会議(一般質問)	3月1日	2
3	4 午前10時～ 本会議(一般質問)	5 午前9時30分～ 建設経済常任委員会 午後1時30分～ 厚生環境常任委員会	6 午前9時30分～ 総務教育常任委員会	7	8 午前10時～ 本会議(議案採決)	9
10	11 午前9時30分～ 予算審査特別委員会	12	13 午前9時30分～ 予算審査特別委員会	14 午前9時30分～ 予算審査特別委員会	15 午前9時30分～ 予算審査特別委員会	16
17	18 午前9時30分～ 予算審査特別委員会	19	20	21	22 午後3時～ 本会議(当初予算採決)	23

詳しくは
市議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。
TEL (055) 278-1673
ホームページアドレス
http://www.kai-shigikai.jp



甲斐市議会
検索
甲斐市議会
検索してください

編集後記

いよいよ平成最後の年を迎えました。思えば昨年は、議員一年目として様々な活動を経験させて頂いている中、世の中に目を向ければ地震や台風など自然災害ばかりが記憶に残る一年でした。議会だよりの編集にも3号関わらせていただきましたが、議会の活動を市民の皆様にはわかりやすく、また興味を持って見ていただくような誌面づくりを行ってきたいと思っています。今後ともご愛読頂けるよう、よろしくお願いたします。

【加藤 敬徳 委員 記】

平成30年度議員視察研修会 レポート

調査研究へ 先進地に学ぶ

甲斐市議会では、11月1、2日で全議員での視察研修を行いました。内容は、市の主要事業であり、また、現在、特別委員会にて調査・研究をしている「山梨県緑化センター跡地活用事業」「バイオマス産業都市構想事業」の先進地を視察しました。それぞれの特別委員長、副委員長による視察研修のレポートをお知らせします。

山梨県緑化センター跡地活用特別委員会

有効な跡地活用に向けて

11月1日 【神奈川県立花と緑のふれあいセンター】

委員長 赤澤 厚

神奈川県立花と緑のふれあいセンターは、鑑賞植物等の収集及び野菜、果樹等の栽培状況等の展示を通じて、花と緑を暮らしの中に取り入れるための情報を提供することを目的に整備された施設であり、平成22年にオープンしました。また、その施設の整備や維持管理・運営などについては、民間事業者によるPFI事業により行われています。

視察においては、神奈川県環境農政局の副課長による講義のあと、実際に施設を見学することができました。驚いたのは、とても広く、素晴らしい施設でありましたが、見込みより入園者が少ないため、オープン当初から事業収支が黒字化していないことでありました。

視察を終えて

本市でも検討しているPFI事業による施設状況を学び、大変有意義な研修でありました。今後も、市民の様々な意見を事業に反映できるように、有効な山梨県緑化センター跡地活用に向け、研究していきたいと思えます。



施設概要を学ぶ

山梨県緑化センター跡地活用特別委員会

PFIによるネットワーク型美術館

11月1日 【神奈川県立近代美術館】

副委員長 金丸 幸司

神奈川県立近代美術館は鎌倉の本館、別館、そして葉山の新館と3つの館の連携で活動が展開される、全国でも数少ない「ネットワーク型」美術館です。美術館建設事業ではPFIの手法が導入され、県が敷地と施設を所有し、民間事業者が、建設と維持管理、美術館支援事務を負担するという事業です。印象的だったのは、資料の収集と情報の発信拠点を備えた美術図書室、多彩な視覚設備を備える講堂や保存技術の粋を集めた収蔵庫など最新の美術館施設となっていました。

視察を終えて

近代美術館副館長の「PFI事業において、民間事業者への要求水準書の作成は大変難しい。また、公立として美術館を建設するにあたり、構造的に行政の持ち出しはあるものであり、全国的に見ても、美術館経営は、鑑賞料だけでの経営は難しい。」との説明は今後の参考になりました。これからの特別委員会での調査、研究に活かしていきたいと思えます。



PFIについて学ぶ

バイオマス産業都市構想特別委員会

議会と行政が一体となり事業を推進

11月2日 宮の郷木質バイオマス発電所

委員長 内藤 久歳

宮の郷木質バイオマス発電所は、林業が盛んな茨城県内で課題となっていた未利用材の活用と、固定価格買取制度による売電事業を目的として建設されたもので二十年間の施設運営を行う計画で稼働している。同発電所で使用される燃料は、日立造船と地元の素材生産者等が組織する「木質バイオマス燃料安定供給協議会」の会員事業者から安定して約85,000t(含水率60%)の年原木丸太(未利用材)を調達し、日立造船と地元の素材生産業者およびチップ製造会社の合計4社による「宮の郷バイオマス有限責任事業組合」が発電所の隣接地に建設した「宮の郷木質チップ製造工場」で、年間約63,000t(含水率40%)の木質チップを製造している。

視察を終えて

甲斐市が取り組んでいる、構想に沿った内容の発電事業を確認でき、有意義な視察研修でした。今後は市民の理解をより深め、議会と行政が一体となりこの事業を推進していきたい。



木質バイオマス発電所について学ぶ

市民の声



育成会の行事に積極的に参加を

依田 なつき
[長塚]

地区の育成会役員としてお手伝いするようになり、2年が過ぎました。年間を通じて、ラジオ体操や地区の夏祭り、神社の祭り、スポーツ大会やクリスマス会など行事は様々でした。

その中で感じるがあります。子どもと地域の結びつきが希薄なことです。私の幼い頃に比べ、周りの大人と関わりが少ないように思います。

甲斐市のスローガンに「他人の子もほめて叱る運動」がありますが、ほめる機会も叱る機会も少ないのが実情ではないでしょうか。子どもを取り巻く環境の変化の中、知らない人にはあいさつをしない子どもも増えています。見守りをして下さるお年寄りや近所の人を知らないのあいさつして良いのか、子どもにとって線引きは難しいかもしれません。

私は様々な地域の行事を通して、子どもたちに地域の人を知ってもらい、楽しい時はともに笑い、困った時には助けを求められるような関係を築いて欲しいと思います。

そのためにも行事や地域への関心を深め、参加が増えればと願い、育成会活動をしています。皆様も子どもたちと地域の触れ合いの場があると嬉しいです。ぜひ積極的にご参加下さい。

親も子どもも新しい発見がありますよ。



議会傍聴記

佐藤 富美子
[竜王4区]

12月の議会で、「山梨県緑化センター跡地活用」について、一般質問があるとのことで議会傍聴をしました。

実際に傍聴をしてみると傍聴席からは、議員の市民の代表者として熱心に質問する姿や市長をはじめ、執行部の方々の真剣に答弁する姿を拝見することが出来ました。また、議場内には、大型のモニターがあり、質問者などの表情も見ることができ、大変わかりやすく傍聴することが出来ました。

傍聴しているの大きな疑問は、山梨県緑化センター跡地活用事業の一般質問において、「計画案の美術館では採算はとれないが、文化価値・経済波及効果がある」との答弁や、なぜ「フラワー&ミュージアム」を基本コンセプトとしているかです。今後予定されている経営コンサルタントなどの専門家を含めた事業化支援アドバイザー業務委託の時には、住民の意見を再度真摯に聞いて欲しいと思います。

水道関係の一般質問では、「水道の民営化は考えていない」と答弁され良かったと思いました。「甲斐市上水道給水条例の一部改正の件」について、賛成討論や反対討論を聞いて、より身近な問題として理解できました。改めて議会傍聴は、住民として大切なことだと感じました。

引越しのお手伝い致します

不用品の買取・回収・販売

★ゴミの片付け・遺品整理も致します。

リサイクル 登美の坂

甲斐市龍地 88-1 (年中無休)

☎0551-28-6262

出張回収にも伺います！お気軽にお電話ください。

有
料
広
告

農業体験による障がい者の社会参加をめざして NPO法人甲斐志麻の里ファーム

就労移行支援事業所
就労継続支援 B 型事業所

利用者募集中!



ブドウ(デラ・ピオーネ・甲斐路他)・小梅・枯露柿・原木しいたけ
ニンニク栽培と販売・古紙回収・トイレトペーパー販売など...



住 所 甲斐市島上条1277-1
電話・fax 055-288-1241
携 帯 090-2623-6309

議会広報常任委員会

委員長	五味 武彦	委員	谷口 和男
副委員長	伊藤 毅	委員	小澤 重則
委員	加藤 敬徳	委員	山本 英俊

この有料広告に関する掲載基準や申込書などは、
市議会HPに掲載しています。(1枠につき1回2万円)
HPアドレス <http://www.kai-shigikai.jp/>